

稲作だより

第1号 育苗準備編

令和7年3月18日

最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1333

令和6年産は、春先の高温の影響で、例年よりも育苗障害（病害や苗ヤケ）が多く発生しました。高温に対応できるよう育苗の準備を行いましょよう。

育苗日数は播種量に合わせて

育苗日数が長過ぎると、苗が老化し、初期茎数が確保しにくくなります。適切な育苗日数になるよう播種日を移植日から逆算して決めましょよう。

表1 播種量と育苗日数の目安

苗の種類	播種量の目安(g/箱)		箱数の目安 (枚/10a)	育苗日数 (日)	移植時葉数 (枚)
	乾粃	催芽粃			
中苗	100	125	30	35	3.5
稚苗	150	188	25	25	2.5
高密度播種苗	250	313	~15	15~20	2.0

浸種時の水温に注意

令和6年産種子の中には、高温登熟の影響で休眠の深いものが見られます。

浸種時の水温が低すぎると発芽率が低下するので、水温が10℃を下回る場合は、温水を加えるなどして水温を10~15℃に維持し、十分な浸種日数を確保ましょよう。

浸種水温が高すぎると病害が発生しやすくなるので、浸種桶は日陰や屋内に置き、蓋をして水温の上昇を防ぎましょよう。

浸種中の水交換は2~3日おきが基本ですが、薬剤消毒の場合には、浸種初日から3日間は水交換を控えます。

表2 浸種時の積算水温

品種	積算水温	浸種日数の目安
はえぬぎ、雪若丸、つや姫、あきたこまち ひとめぼれ、コシヒカリ、山形95号	120℃	10℃×12日間
ササニシキ、ヒメノモチ	100℃	10℃×10日間

育苗相談会
実施中！

方法：普及課まで電話するか、直接お越しください。
連絡先：最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1333
期間：4月30日(平日9時~16時)まで